

# SAGA CITY

## ～景観まち歩きマップ～

### 【佐賀城下編】

**おすすめルートA** 佐賀城周辺を中心に、水と緑ゆたかな景観を眺めて歩く、自然と文化のコース。

#### 1 鍋島直正公銅像

西洋の科学技術をいち早く取り入れ、幕末佐賀を薩長土と並ぶ雄藩のし上げた佐賀藩第10代藩主、鍋島直正公の銅像。台座も含めると約8.5メートルあり、生誕200年を記念し、平成29(2017)年3月に73年ぶりに再建されました。



#### 7 岡田三郎助アトリエ

明治41(1908)年頃に現在の東京都渋谷区恵比寿に建築され、佐賀出身の洋画家、岡田三郎助が昭和14(1936)年まで作品の制作に打ち込んでいた木造洋風建築のアトリエです。平成30(2018)年に現在地に移設・復原されました。国の登録有形文化財です。



#### 13 くすの栄橋

平成10(1998)年3月に開通し、市中心部と城内、南部地区を貫いて、佐賀空港までほぼ直線でつながりました。全長53メートルで幅員最大19メートル。歩道には、佐賀市と友好関係にある中国・連雲港市の石が使用されています。



#### 2 鯨の門

佐賀城本丸の門として天保9(1838)年に完成。屋根の青銅製の鯨から「鯨の門」と呼ばれています。明治7(1874)年の佐賀の乱(佐賀戦争)では銃弾にさらされ、その時の弾痕が今も扉に残っています。



#### 8 佐賀県立博物館・佐賀県立美術館

博物館は昭和45(1970)年に明治百年記念事業として、美術館は昭和58(1983)年に県政百年記念事業として開館しました。共に佐賀県の文化活動の拠点として、多くの郷土資料等の調査・研究と展示・紹介が行われています。



#### 14 佐賀県庁舎

旧館は昭和25(1950)年落成。正面の4本の石柱はその前年の火災で焼け残った正面玄関の柱でした。新館は平成6(1994)年竣工。かつては佐賀県内で最も高い建築物で、最上階には展望ホールやレストランも設けられています。



#### 3 天守台

慶長12～14(1607～1609)年にかけて佐賀城天守閣が築されましたが、享保11(1726)年、本丸・二の丸・三の丸・天守閣が焼失。その後近代になって、佐賀測候所や協和館がありましたが、現在は更地となっています。



#### 9 JONAI SQUARE

現代的でシャープなデザインが魅力的な、カフェやショップからなるサガテレビス施設。水辺空間を取り込んだテラスや通り沿いの植栽から見えるガラス越しの店内が、昼も夜もおしゃれな空間を形成し、周囲の景観を活かしたスポットとなっています。



#### 15 ARKS(アルクス)

ARKSとは、「歩く」と、県木である「楠の木」を組み合わせて名付けられました。より多くの人々が訪れ、歩いて過ごすことの楽しさを感じてもらいたいとの想いが込められています。レジャーシートや遊び道具のレンタルも行っていきます。



#### 4 古賀忠雄 彫刻の森

佐賀市出身の彫刻家、古賀忠雄の代表的な彫刻作品を県立博物館や美術館周辺の野外(佐賀城公園)に展示し、周辺環境を芸術空間として古賀忠雄の作品のすばらしさを多くの方に鑑賞していただくため、平成6(1994)年3月に開園しました。



#### 10 佐賀城下ほたるの里

佐賀市の中心部を通過して城内に入る多布施川の一角にあり、通称「馬洗場」とも呼ばれています。ホタルが飼育される人工池で、毎年シーズンになるとたくさんのホタルの演舞が楽しめます。



#### 5 佐賀城南濠

広いところでは50メートル以上の幅がある水濠で、散策やランニングに最高のロケーションです。シーズンにはたくさんのハスが群生し、可憐なハスの花を楽しむことができます。



#### 11 市村記念体育館

佐賀県出身の実業家でリコー三愛グループの創始者である市村清により佐賀県に寄贈された施設で、昭和38(1963)年に「佐賀県体育館」として開館しました。坂倉準三の設計で、正面からは王冠を思わせ、側面は馬の鞍型をした独創的なデザインが特徴です。



#### 6 清恵庵

佐賀県出身の実業家で、リコー三愛グループの創始者である市村清の遺志により、幸恵夫人から寄贈され、昭和48(1973)年10月に、佐賀城の広い南濠に面した現在地に建てられた茶室です。茶室建築の第一人者、堀口捨己による設計です。



#### 12 佐賀県立図書館

大正3(1914)年に鍋島家により設置された佐賀図書館を前身としており、鍋島家の貴重な資料も数多く収蔵されています。現在の建物は昭和38(1963)年に開館した建物で、モダニズム建築として、高い評価を受けています。



#### 18 中之小路賓館

明治から平成までの123年間にわたり佐賀県知事の住まいとして利用された旧知事公舎。和と洋が調和した建築様式で、昭和36(1961)年には昭和天皇もご宿泊されるなど県の賓客のおもてなしの場所として長い歴史を積み重ねてきました。



佐賀城址のなごりであるお濠と、その濠端の楠に囲まれた水とみどりからなる都心のオアシスともなっている城内エリア。佐賀の歴史や文化を色濃く残す、長崎街道・柳町周辺。たくさんの景観スポットを歩いて巡り、その魅力を体験してみませんか？



【発行】佐賀市建設部 建築指導課 景観係  
〒840-8501 佐賀市栄町1番1号  
TEL 0952-40-7172  
E-mail kenchikushido@city.saga.lg.jp  
【製作】一般社団法人 佐賀県建築士会  
【佐賀市景観整備機構】  
2023年2月 発行

**おすすめルートB** 松原川から柳町に向け、江戸時代より脈々と続いた街並みを歩く、歴史散策コース。

#### 1 佐賀バルーンミュージアム

天気は左右されずいつでもバルーンを体感できる日本初の常設型熱気球ミュージアムとして平成28(2016)年にオープンしました。パイロット気分を味わえるバルーンフライトシミュレーターやバルーン機能や歴史に関する展示等を行っています。



#### 7 松原河童社

松原川に向かって参道を設ける松原河童社は、松原神社楼門の梁上に乗っていた河童が祀られている神社です。この河童はかつて松原川に住んでいた「ひょうすべ」と言われており、現在では子どもたちを水難から守る神様として祀られています。



#### 13 中央マーケット

昭和21(1946)年にできたと言われている屋根下の商店街で、昭和レトロな雰囲気、タイムスリップしたような感覚を味わうことができます。かつては30軒ほどの店舗が営業しており、今も数軒の飲食店や店舗が軒を連ねています。



#### 2 旧嬉野家の武家屋敷の門

嬉野家は県西南部を中心に勢力を持っていた武士で、この地には約30間(60m)四方の広大な屋敷地がありました。この門はかつて「中門」と呼ばれ、その東側には屋敷の正門であった長屋門もあったと伝わっています。切妻造の本瓦葺で、火除けの「水」の字が入る鬼瓦を載せています。



#### 8 新馬場通り

文化14(1817)年に松原神社と東にあった下宮をつなぐ参道として整備され、当時、通りには3つの鳥居が並んでいました。かつてはたくさんの旅館が立ち並び、なかでも東側の角に建つ松川屋は、森鷗外をはじめ、多くの著名人などが宿泊した老舗旅館でした。



#### 14 願正寺

慶長5(1600)年に佐賀藩初代藩主、鍋島勝茂公によって建立されました。境内には明和5(1768)年に再建された鐘楼があり、元禄9(1696)年から城下への時鐘として用いられました。本堂や鐘楼、山門などは国の登録有形文化財に登録されています。



#### 3 松原川

松原川は市民が水辺に親むことができます。松原公園として整備されました。松原川にはたくさんのカッパの像があり、川沿いの遊歩道を散策しながら探すのも一興です。その中に、右手を出して握手を求めカッパがいるので、握手してみましょう。



#### 9 欄干橋

江戸時代には橋の北側に大きな門があり、町人地と武家地の境界となっていました。かつては川幅が広く多くの舟が通行していたため大きな太鼓橋だった記録が残っています。橋の名前は近くに御殿様の休憩所「欄干茶屋」があったことから付けられています。



#### 15 晒(さらし)橋

長崎街道の、裏十間川につながる「呉服町水路(真宗堀)」に架かる橋で、欄干には往時を偲ぶガス灯が復元されています。昔、罪人と罪状を記した木札を吊し、この橋を通る人達に見せしめたことが名前の由来となる説があります。近くには、かつて佐賀藩の本陣が設けられていました。



#### 4 徴古館

鍋島家第12代当主直映(なおみつ)公により昭和2(1927)年に創設された佐賀県内初の博物館で、初期の鉄筋コンクリート造建築です。平成9(1977)年に国の登録有形文化財に登録されました。現在は、鍋島家伝来の美術工芸品や歴史資料などを幅広く公開しています。



#### 10 わいわいコンテナ2

平成24(2012)年、商店街の空き地となっていた敷地にコンテナを改造した施設を設置し、街なかで誰もが自由に無料で楽しむことができる「空き地リビング」としてスタートしました。休憩や待ち合わせ、親子や仲間との団らん、イベント開催など、市民に幅広く利用されています。



#### 16 成就院橋

北の町人地と南の武家地を結んでいた橋で北西にあった寺院「成就院」の名が付けられています。橋が架かる裏十間川はかつて川幅が今の2倍以上あり、長崎街道の町家に物資を運ぶ小舟がたくさん行き交っていました。



#### 5 佐嘉神社

幕末の名君、佐賀藩第10代藩主鍋島直正公、第11代藩主鍋島直大(なおひろ)公を祀る神社で、昭和8(1933)年に別格官幣社になりました。境内には築地や多布施の反射炉で鉄製大砲を製造した偉業を称えて復元されたカノン砲があります。



#### 11 長崎街道の道標

江戸時代、長崎と小倉を結ぶ長崎街道に設けられた道標で、長崎と小倉の方向を指し示しています。当時の道標のほとんども姿を消してしまいましたが、佐賀城下に現存する3つの道標の一つで、貴重な存在です。



#### 17 柳町通り

長崎街道の一部である柳町通りには旧古賀銀行をはじめとする数多くの歴史的な建築物(佐賀市歴史民俗館等)が建ち並んでいます。歴史散策をしながら、建物をリノベーションしたカフェやショップ、伝統工芸店なども楽しめるエリアです。



#### 6 松原神社

佐賀藩第8代藩主鍋島治茂公により、藩祖鍋島直茂公を御祭神として安永元(1772)年に創建されました。直茂公は法号を日峯と称することから、「日峯(にっぽう)さん」として親しまれ、春と秋にはお祭りが開催されています。



#### 12 656(むつごろう)広場

656広場は商店街の中心的な広場として多くの市民に親まれてきました。平成28(2016)年にリニューアルし、日々数多くのイベントが開催されるスポットとなっています。オープンスペースなので、誰でも気軽に利用することができます。



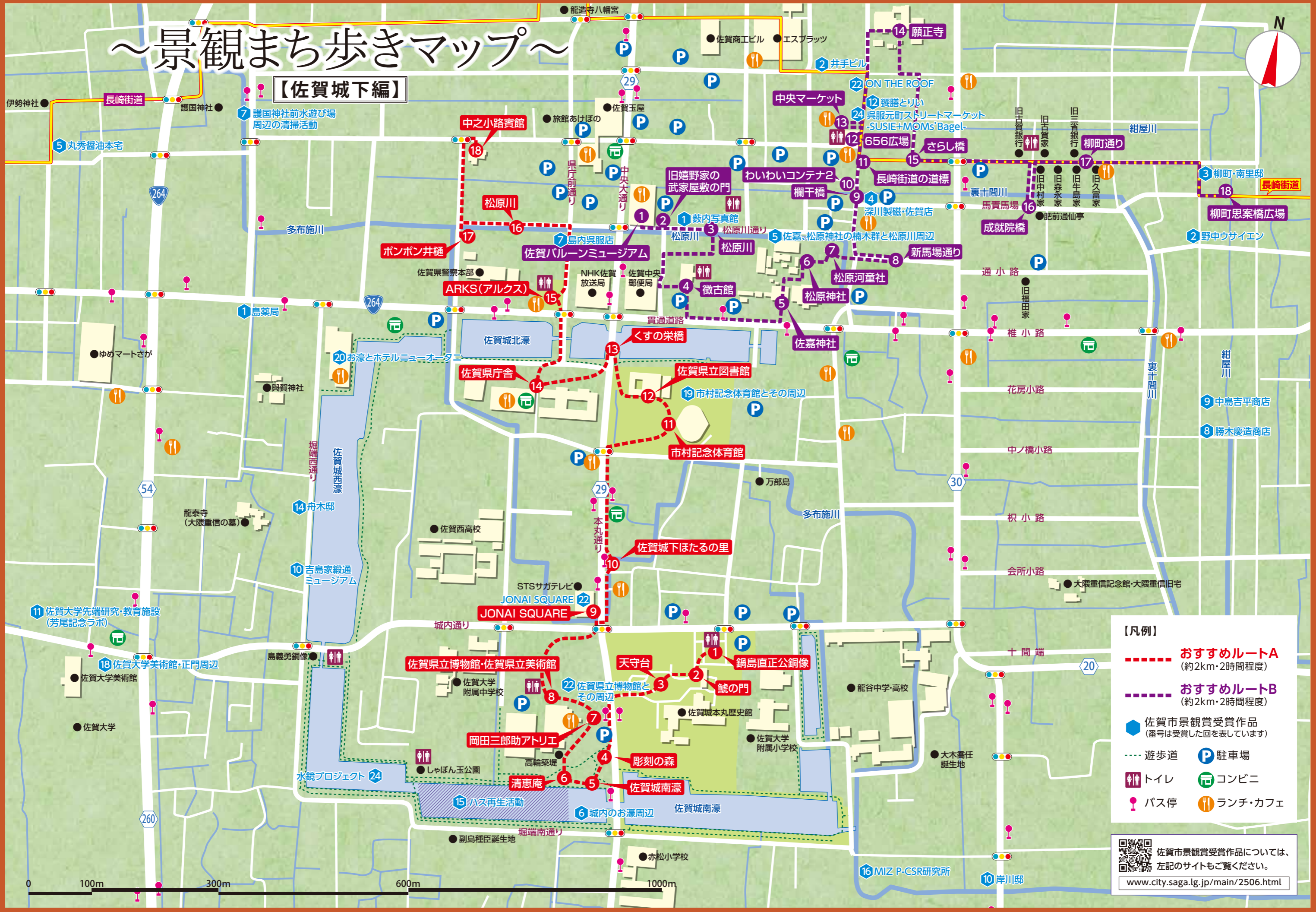
#### 18 柳町思案橋広場

紺屋川に架かる思案橋のたもとで、平成31(2019)年に石垣護岸や石段等の遺構が発見されました。江戸時代から続いた商家町に、紺屋川を介して舟で物資の運搬を行う荷揚げ場として利用されたことを物語る貴重な遺構です。現在は、往時の風情が感じられる広場として整備されています。




# ～景観まち歩きマップ～

## 【佐賀城下編】



- 【凡例】
- **おすすめルートA**  
(約2km・2時間程度)
  - **おすすめルートB**  
(約2km・2時間程度)
  - 佐賀市景観賞受賞作品  
(番号は受賞した回を表しています)
  - 遊歩道
  - P 駐車場
  - ♿ トイレ
  - C コンビニ
  - バス停
  - C ランチ・カフェ


 佐賀市景観賞受賞作品については、  
 左記のサイトもご覧ください。  
[www.city.saga.lg.jp/main/2506.html](http://www.city.saga.lg.jp/main/2506.html)